岩出 雅之

1. 授業の概要(ねらい)

競技者としての活動を通し、自己及びチームの競技力向上のための必要な資質を高める。競技者としての活動の他に、チームの指導的立場として、効果的な指導方法・コーチングの理解・チーム運営・マネジメントの理解・各種大会に参加することにより競技会運営の理解・競技団体の運営の理解等々競技者としての能力の幅を広げ、将来のスポーツ指導者としての資質を高める。

- 2. 授業の到達目標
  - 大学スポーツの意義について理解する。
- 3. 成績評価の方法および基準

出席・レポート等を含め授業態度や理解度も総合的に判断する。

4. 教科書·参考文献

教科書

別途指示します。

- 5. 準備学修の内容
  - 次回の授業内容を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。
- 6. その他履修上の注意事項

## 7. 授業内容

【第1回】	ガイダンス 授業展開内容、基本的注意事項等を説明し履修者人数の確認を行う。
K > 1	
【第2回】	1 コーチング 1)指導とコーチング
【第3回】	1 コーチング 2)育成とコーチング
【第4回】	1 コーチング 3)コーチングの内容
【第5回】	1 コーチング 4)コーチングの課題
【第6回】	2 コーチングに求められるもの 1)期待される競技者像
【第7回】	2 コーチングに求められるもの 2)管理主義の誤解
【第8回】	2 コーチングに求められるもの 3)支援と期待のコーチング
【第9回】	2 コーチングに求められるもの 4)人を育てるコーチング
【第10回】	2 コーチングに求められるもの 5)コーチングとトレーニング
【第11回】	3 コーチングの現状と問題点 1)発育・発達に応じたコーチング
【第12回】	3 コーチングの現状と問題点 2)長期的計画にもとづくコーチング
【第13回】	3 コーチングの現状と問題点 3)早期専門化の問題点と対策
【第14回】	4 一貫性コーチング 1)学校スポーツと一貫性指導
【第15回】	総括 テスト